

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	小原戸ノ上ビル	階数	地上8F
建設地	門司区柳町1丁目6-5	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2012年1月15日
敷地面積	910 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	461 m <sup>2</sup>	確認日	2012年1月15日
延床面積	2,314 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
参照値: 100%  
建築物の取組み: 97%  
上記+ 以外のオンサイト手法: 97%  
上記+ オフサイト手法: 97%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 商業地域に建つ集合住宅であるが、採光と自然換気に配慮し、駐輪場、駐車場の確保など居住環境に配慮している。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> アルミサッシはT-2の遮音性能を採用、外気に面した窓開口を十分にとり、昼光率、自然換気性能を高めている。また、カーテン底によりグレアを制御している。	<b>Q2 サービス性能</b> 外壁はタイル、外部金属部は亜鉛メッキとし維持管理に配慮し、恒久的なゴミ置場を設置、各階にバルコニー、外廊下等維持管理機能の確保をしている。空調・給排水管は耐久性が高く、節水型便器の採用など耐用性・信頼	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 商業地域に建つ建物であるが、植栽を設け、防犯性にも配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁、屋根に断熱性の高い工法を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の水栓、便器を採用、非構造物においてサイクル材の使用を行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 自転車置場、駐車場を十分確保し、光害の抑制対策を行い敷地外環境に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい